

28 我が街 船橋を歩く—神社仏閣(26) 山野浅間神社(1)—

29 期 仲田 元昭

JR 西船橋駅より千葉方面へ徒歩 15 分程千葉街道(旧佐倉道)沿いにある、中世より人々が住んでいた旧葛飾村山野地区の鎮守である山野浅間神社を 2 回にわたりご案内します。

「山野浅間神社」

山野浅間神社は、その昔山野の村人が駿河国富士山本宮浅間神社を氏神として勧請して創建としており、社宝「懸仏(かげぼとけ)」の年代検証等より、今から 750 年程前の鎌倉時代後期～室町時代前期には存立していたと伝えられている、船橋でも古くからある神社の一つです。

前の社殿は、嘉永 3 年(1850)に造営され、戦後に増改築が行われ、現在の新社殿となりましたが、当時の部材の一部が再利用されているといわれています。

御祭神は、富士山を崇拜する浅間信仰の木花咲耶姫命で、安産の神・子育ての神としても信仰を集めています。例大祭は、富士山の山開きに合わせ、6 月 30 日、7 月 1 日でお祭りが行われます。

「船橋一の長さを誇る参道」

神社鳥居前の階段らかまっすぐ伸びる本殿までの参道の長さは 220m あり船橋随一の長い参道を誇る神社です。ちなみに参道の長さ 2 番目は、船橋を代表する船橋大神宮の参道 182m です。

昭和 30 年代までは、この高台(標高 22m)の境内より東京湾を隔て、荘厳な富士の勇姿を拝することが出来ました。今は街の開発が進み残念ですが見る事が出来ません。



一の鳥居から見た船橋で一番長い参道



二の鳥居の先に社殿



立派な拝殿と奥に本殿

「29 我が街 船橋を歩く 神社仏閣(27) 山野浅間神社」に続く「2023-4-1 寄稿」